



新しい年を迎えるにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。また、平素より宇和島市政の推進と発展に多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年1年は、天候に振り回された年でありました。2月には大寒波が襲来し、三間地区では水道管の破裂など300件以上の被害を記録しました。そして7月には豪雨災害が発生し、吉田地区で多くのかげがえのない命を失いました。また、吉田・三間地区において水、さらには全域において生業の礎を失い、多くの希望までもが削ぎ取られるような状況でありました。

そのような中、国内外を

問わず多くの方々のお力添えをいただきながら、現在、復興に向けてスタートラインを1歩踏み出したところであります。今後、市民の皆様とともにその道のりを一歩一歩着実に歩み続け、お世話になった方々へ本市からの明るいニュースをお届けしていきたいと考えています。

また、平成最後の年となる2019年には、宇和島市学習交流センター「パイオウわじま」の開館など、新たな展開も控えています。災害からの復興はもちろんのこと、産業振興・雇用対策、定住促進、少子高齢化対策など各種施策にも全力で取り組みでいく所存でございますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宇和島市のますますの発展と、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のあいさつとします。

宇和島市長

岡原 文彰

新年のごあいさつ

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

申すまでもなく昨年は、7月5日から断続的に降り続いた豪雨により、近年私たちが経験をしたことのない、また、想像をはるかに超える規模の土砂災害、広範囲での浸水など甚大な被害を受けました。災害関連死を含め多くの尊い人命や財産が失われ、自然の恐ろしさを改めて痛感した年となりました。

未だに被災地を訪れますと、被害の大きさを物語る深い爪痕が残っており、今もなお多くの方が不自由な生活を余儀なくされております。これまで国や県、自衛隊のご支援をはじめ、消防団の皆様や、ボランティアの皆様、地域の皆様、企業・団体の皆様、そのほか関係機関の皆様のご復旧・復興に向けた多大なご支援や心温まるご協力に対しまして、改めまして心から深く感謝を申し上げます。

被災後、臨時議会を開催し、市議会内に「平成30年

7月豪雨災害対策特別委員会」を設置いたしました。全議員を委員として構成し、議会といたしまして被災からの復旧・復興に向け、どう取り組むべきか協議を重ねております。今後におきましても、被災した方々の生活を再建することを第一に、関係機関と連携しながら、1日も早い復旧・復興に向け尽力いたします。

どうか、これからも市議会活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、2019年が皆様にとりまして、幸せで実り多い年となりますようご祈念申し上げます。

宇和島市議会議長

清家 康生

